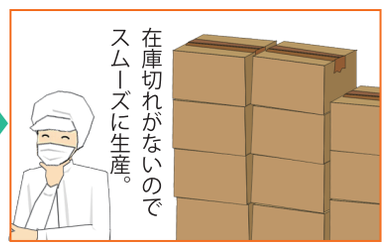
食品会社様用 進捗在庫管理システム

食品会社様用の進捗在庫管理システムは、人為的ミスで発生する、材料や消耗品などの品切れを未然に防ぎ、
未来在庫の予測をして、無駄なく在庫管理ができるため、生産性の向上に貢献します。

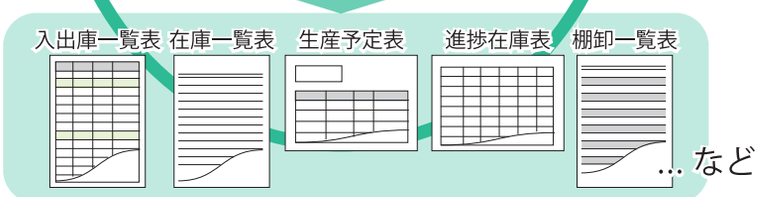
材料や消耗品などの品切れに
効果的な生産計画が立てられず、
悩んでいます･･･。

Before

システムで未来在庫の予測ができ、
発注ミスなどを未然に防ぐことが
できます。



After



※表などはイメージです。

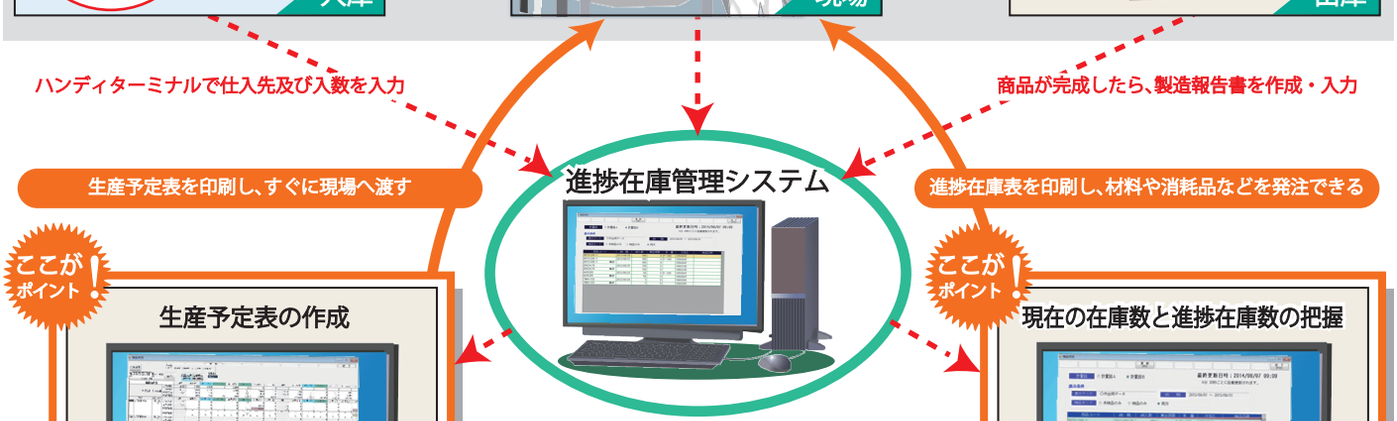
導入事例

例）食品添加物の製造会社様

■ 入庫から出庫までの流れ

ハンディターミナルで仕入先及び入数を入力

商品が完成したら、製造報告書を作成・入力



原料使用料の計算ができる

入庫時の入数や、出来上がった商品の数量（出庫）を計算し、一週間分※1の生産予定表ができる。
生産予定表により、日別の原料使用料もわかるため、印刷して現場に渡すことができる。

※1 期間は指定できます。

進捗在庫がわかる

在庫数がすぐに把握でき、生産予定表と連動しているため、入庫予定を入力することで、未来在庫の予測も可能となる。そのため、材料や消耗品、備品などの発注ミスがなくなる。

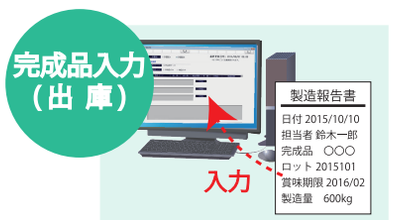
※画面はイメージです。

幅広いニーズに対応できるシステムです。

進捗在庫管理システムを使えば、細やかな在庫管理、保管業務の品質向上とトレーサビリティ、材料や消耗品、備品などの品切れ防止を、使う方の視点に立った操作性と便利機能がカスタマイズできます。

食品会社様用 「進捗在庫管理システム」でできること

仕入先一覧表よりバーコードを選び、袋数を入力します。入数を変更する場合はキー入力で変更できます。



出来上がった製品の報告書を見ながら数量を入力し、材料構成数量を計算。計算値のズレを後から修正も可能。

履歴や在庫表示を印刷することで、入出庫・在庫一覧表が一目でわかり、金額も把握することができます。会計処理も簡単です。

日別の製品生産予定表を入力することで、日別の原料使用料が計算でき、印刷してすぐに現場へ渡すことができます。

生産予定表と連動しているので、入庫予定を入力することで、進捗在庫数が一目でわかります。
在庫数がすぐに把握でき、日にちを指定して印刷することもできます。

棚卸作業完了後、パソコンの在庫数と棚卸数の差異があったものを画面表示、印刷ができます。

カスタマイズ

食品ならではの微妙な調整や、会社独自の細かな指定ができるなど、使いやすいシステムが完成し、操作性や機能がさらに向上します。

☞ システムをカスタマイズすることで
さらに使いやすくなる！

【ソフトウェアパッケージ製品のご紹介】

入出庫検品システム

Uni Picking
ユニピッキング

製品の入出庫の検品が簡単にできる。

ハンディターミナルを使って製品についているバーコードをスキャンし、数量を入力するだけで、入庫の検品作業が終わり、出荷する時は、出荷先ごとのピッキングリストと製品についているバーコードデータを照合し、最後に出荷もれや間違い等がないか、作業評価が画面に表示されます。
リアルタイムでデータを送ることができるので、現場と管理者の両方で作業評価を把握することができます。

検品作業例

検品履歴を見ることができる。

日付、商品コード、ロット番号、納入先などで検索することができ、いつでも履歴を見ることができます。

その他にもいろんなシステムがございます。お気軽にお問い合わせください。

UniCalc

株式会社 ユニカルク
http://www.unicalc.co.jp/

〒422-8076
静岡県静岡市駿河区八幡3-10-4
TEL. 054-284-2740
FAX. 054-284-0184

● お問い合わせは、下記販売店まで。